



# リグチル輪舞

~謎の白い霊体を追え!!~



いつものパターンもとい様式美



「どうせ誰かの仕業で誰かが解決するさ」  
彼女はそう思い  
気にしないこととした  
しかし…

なんだか体の中から  
謎の白い液霊体が  
出てきたリグルさん



やーリグルん!!



フフフ…  
これはきつと  
異変よ!!

なんか私のと違って  
可愛いもんだね



と言いつつ  
まんざらでもない  
リグルさんである

まったくもう。



あんたはいつも  
いきなりだな!!

行くよ  
リグルん!!

私のまへ  
連れまな!!

あの先に何か  
あるはず!!

# 安定のリグル



あたしって  
ほんと慕。

## ■前書き

こんにちは、或いははじめまして。  
今回も無事本が出せました。

前回東方本を出した昨夏から今まで  
何やってたかという、ゲーセンで  
ミクさん(Project DIVA)と戯れて  
いたことと、まどマギにドハマリした  
だけ…ですかね。

まあ自分の近況などどうでもよからう  
なのだ。

ということで。  
今回の本は、リグチルが無謀にも二人  
だけで神霊廟に挑む感じのお話です。  
C74で出した地霊殿体験版本が  
自分の中でお気に入りなので、その  
形式を踏襲してみました。

いつものお子様チルノと薄幸リグル。  
楽しんでいただければ幸いです。

2011年7月  
立入禁止の星空 の一と

■さやかさんのコスプレりぐる。  
ショートカットだったり、マントキャラだったり、  
不遇だったり…と、共通点がいくつかあります。  
そこでこの絵を描いてみたわけですが…

この二人、性格も生き様も  
別に似てないよね。

描いてから言うな俺。

# チルノちゃんは最強ですから



# 完全に一致



# 町人Aのお仕事。



# 伊達にあの世は見てねえぜ!!



# 過ぎた欲で身を滅ぼせ



「ただ私の欲が何なのか  
それがわからない！」

「つまり私が今追いかけている  
神霊とやらは私の欲に従って  
どこかへ向かっているわけだ」



「私は霊界よりも  
『神霊』の方が  
気になるなあ」

「あ〜なんか  
あたいた達の『欲』とか  
言ってたね」



「そりゃ『女の子扱いされたい』とか  
あるけどさそれは神霊の  
向かう先とは関係なさそうだし…」

「私もそれを  
考えていたよ」

「リグるんの欲って  
何だろうね？」



「あたいの欲はきつと  
『ラスボス倒して  
異変解決』よ!!」

「だから神霊の  
行き先は  
ラスボスの  
居場所ね!!」

「うん 知ってた  
ストレートね…」



「自家製タンパク質を  
塗ったくっった手で  
声優と握手したい」とか



「余命2週間とか大ボラ  
ぶっこいてみんなに  
同情されたい」とか

「？」

「顔出し微エロ生放送やって  
ちやほやされたい」とか



「あーわかるわかる」

「他には…  
『人気者になりたい』とか  
『大金持ちになりたい』とか」



「大変だ!! リグるんが  
他の人の邪悪な神霊に  
取り憑かれちゃった!!」

「しっかりして!!」

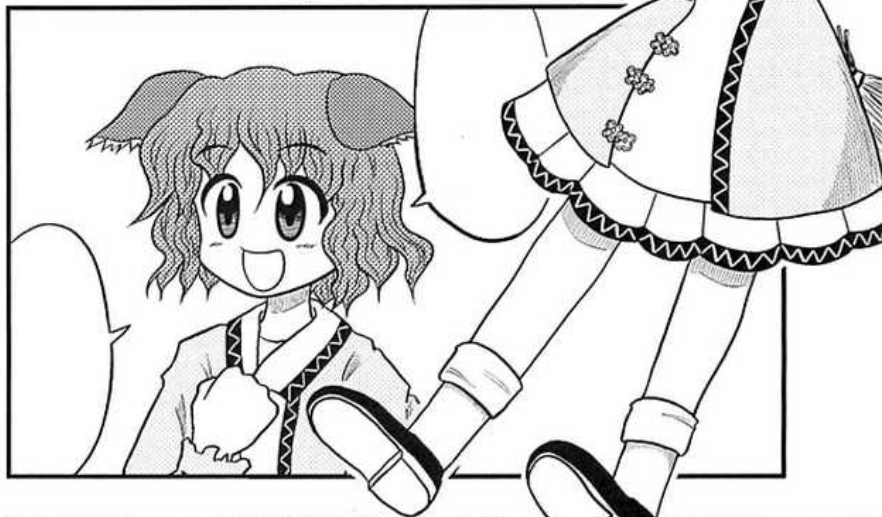
「兄さんアリスの  
絵師とか  
大物ですなwww」

「人間の欲は尽きるこ  
と  
ないよねえ!!」

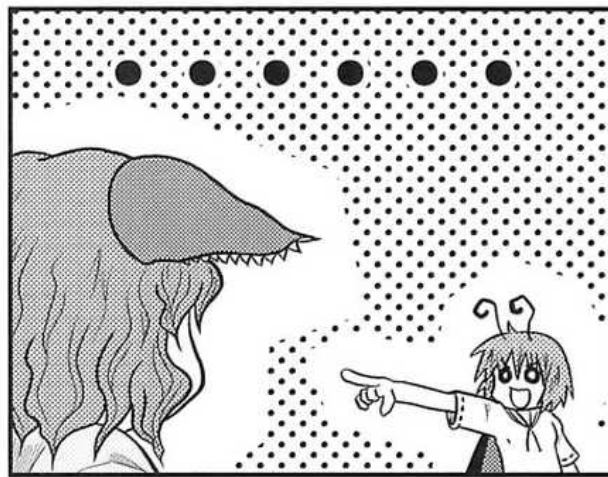
「原作はどーでもいいけど  
人気ジャンルだからとりあえず  
手を出して名を売りたい」とか  
「割れ発覚した東方絵師を  
晒し上げて見苦しい言い訳  
聞くのを楽しみたい」とか



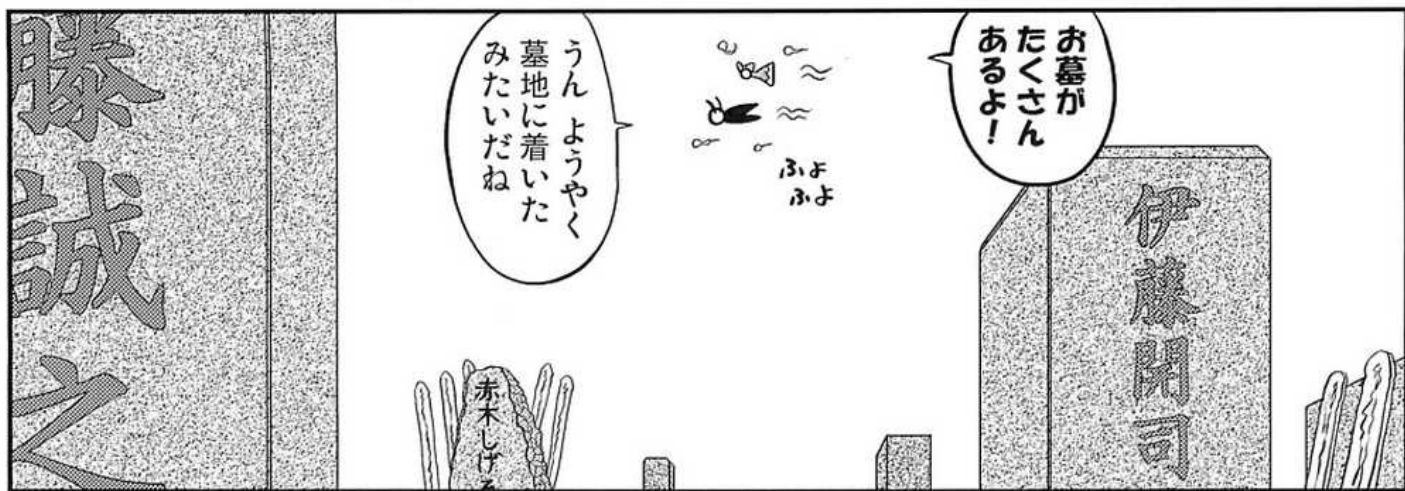
# 印刷ミスじゃないですお



# 試合に勝って勝負で負ける



赤木は笑っているだろう…



それがこのさまである。

うおおいそれ  
出会い頭に言うセリフ  
じゃないでしょ!?

なんぞ知っ! MASCARA!!

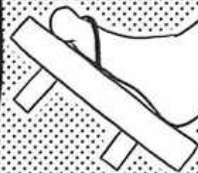


あつ 仲睦まじい  
お子様カップルだ

お困りの忘れ物  
多々良 小傘



この先にいる奴を  
何とかしてほしいんだ  
ただし…私よりも強い  
か試してからねっ



「もーかりまっか?」って  
あたいに訊いてみて!!

ちよっとチルノ  
バトルだよ  
アホなこと言わずに  
身構えな!!

儲かりまっか?



墓地 墓地

正気か!?

この先の番人は  
馬鹿だった!

馬鹿には馬鹿をぶつけてみれば  
何とかなるかも知れないね



ホラ行くよ!

気が変わらない  
うちにね!

ねえねえ  
訊いてよお

やっぱり  
先に進んでいいよ  
お願いね!!

『欲を喰う』と言うと淫魔っぽくてエロい

ちーかよーるなー!

忠実な死体  
宮古芳香

我々は…えと…  
何かを守るために生まれた  
腐女子である!!  
この先へは進ませない!!

ようやくストーリーに  
関係ありそうな敵が  
出てきたわね

それにしても  
死体とは…

神霊があいつに  
吸い込まれていく!!  
く喰ってるよ!!

おいしい  
なんかシルエツト  
間違ってるぞ!!

B級妖怪

あっ見てよ!!

言い忘れたが  
100%の私は  
ひどくハラがへる

完全に戸愚呂  
じゃねーか!!

『ヒールバイデザイン』  
というスペカ名の通り  
欲を食べるのだ

ダジャレにすると…  
欲を…  
よく喰う!!

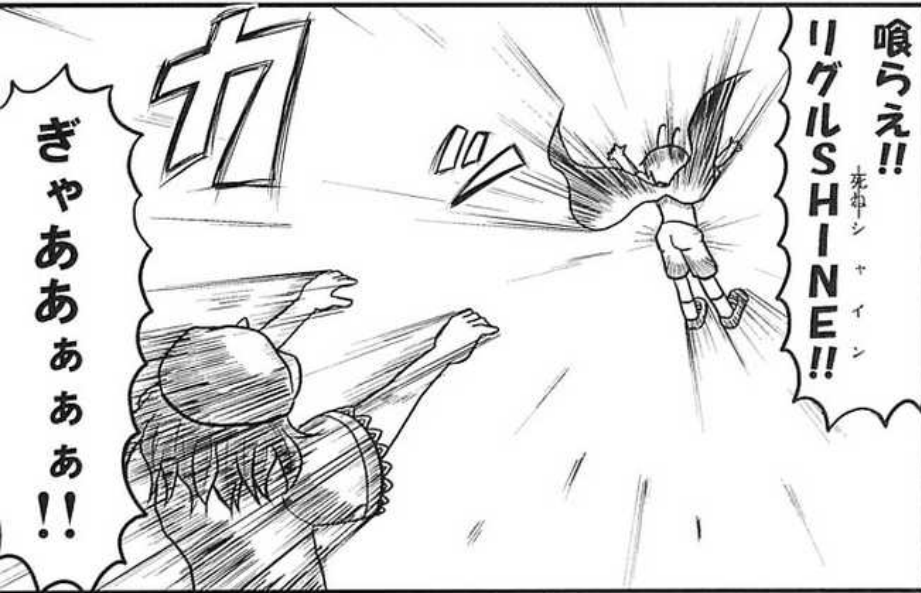
HAHAHA

しっかりしろ鈴駒!!  
下っぱらを中心に  
全身をガードしろ!!

誰が鈴駒だ。

さっきからこうも  
駄洒落押したと  
さすがに体が寒い…!!

土のスカルミリョーネ (2回戦) VS セシル (パラディン) みたいな

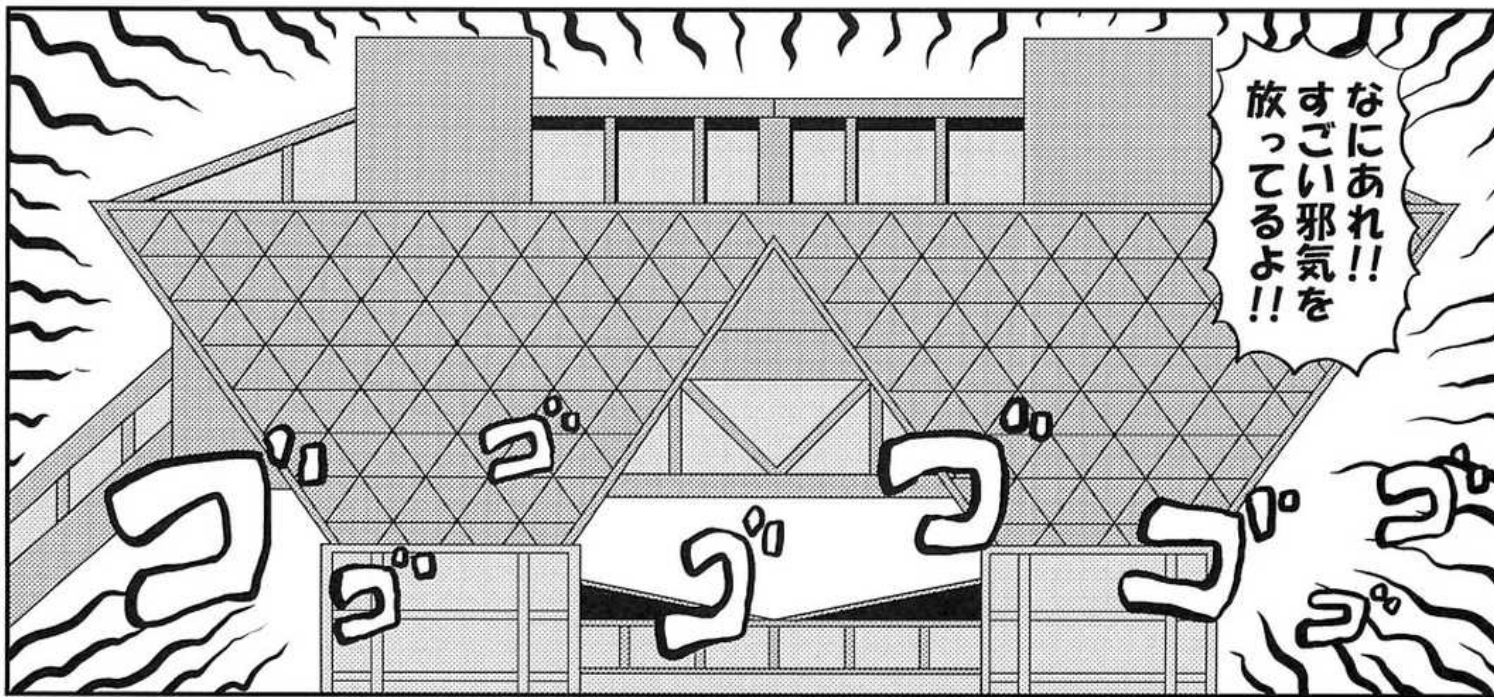


# 困ったときのおまかせチルノ



以降のページでは、いわゆる「ぼくのかんがえたおんなのこ」がメイン張ります。オリキャラってわけではありませんが、一応オリキャラ耐性のない方はそっと本を閉じてあげてください。





『ある少女の最後のコミケ』



そらうとも

ここは  
欲望ひしめく  
魔の宴

その手のモノが  
好きな者にとって  
これほどまでに  
欲を満たせる集まりは  
他にない

漫画が  
イラストが  
小説が  
音楽が  
自作ゲームが  
評論が…

果てはコスプレや企業グッズまで  
ありとあらゆる形式・ジャンルが  
超規格外の規模で  
一度に集まるイベントは  
他にない

シリアスが  
ギャグが  
ほのぼのが  
エロが  
ホモが  
レズが…

老若男女も  
身分も人種も  
関係ない

ここが  
全ての同人の  
理想郷だ!!





そうだな…  
ある少女の話を  
しようか

ああ…



なんだかよく  
わからないけどっ

こんなお祭りなんて  
今までなかったよ!

## 少女はオタクだった



その日少女は  
東京ビッグサイトで  
好物の麦×千本を  
物色していた

彼女の好みは主に  
ジャンプ漫画だったが  
他雑誌にも幅広く  
手を伸ばしていた

休み時間に友達と好みの  
キャラについて議論したり  
ノートの隅にラクガキしては  
すぐに消したり…  
そんな可愛らしい少女であった

少女は何の変哲もない  
やおい少女…  
通称『婦女子』であった



これが最後のコミケに  
なるだなんて



彼女はこの時 思いも  
よらなかっただろう



これ…一冊  
ください

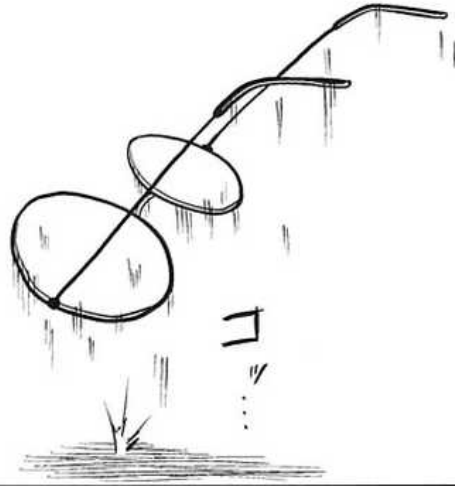
初めて18禁に手を出した  
その声は震えていた



買ったばかりの本の  
表紙を見つめる少女

少ないアルバイト代で  
手に入れた素敵な本…  
幸せな気持ちだが彼女の  
胸を満たしていた

この世界でも一般社会同様  
対立勢力同士の争いは  
絶えることがない



その多くがネット上における  
言い争い・情報戦であるが  
極稀にリアルファイトで  
傷害事件へ発展することもある

これらの争いは  
『**宗教戦争**』  
と呼ばれている

彼女は『**それ**』に巻き込まれた

目の前で起こった  
宗教戦争を  
止めに入った瞬間だった

半ば発狂した女が  
カッターナイフを振り回し  
その軌跡が偶然彼女の首を  
切り裂いたのだ

気弱な少女が見せた  
勇気が仇となった

少女は恐怖と痛みの中  
しばらく苦しんだ後…

あっけなく死んだ



コミケの長い歴史の中で  
初めての会場内死者  
それも殺人である

元々世間の風当たりが  
厳しい中 準備会は  
残日程と次回開催の  
中止を決定した

### コミケマーケット開催中止の

実名報道がされたのが  
被害者だけだったため  
インターネット上で彼女は  
『コミケ中止の戦犯』  
というレッテルを  
貼られることになる

だがそんなことで  
コミケが人々の記憶から  
消えるはずはない  
自然に幻想郷に流れ着く  
はずがない

だからこれは  
別ルートだ

夢の途中で  
命を断ち切られた少女



『もっと面白い本を読みたかった』  
『同じ趣味を持つ人たちと  
お話してみたかった』  
『いつか私も本を作ってみたかった』

その思いこそが……



幻想郷  
ここにコミケを  
発現させたのである

それが…  
今ここでやってる  
『こみけ』だっていうの？



ああ

だがこれだけの規模だ  
一人の力じゃなくて  
裏に誰かいると  
私は踏んでいるがな

キョンシーとして目覚めた  
少女が、まず思ったことは  
『私が何かを壊してしまった』  
という罪悪感



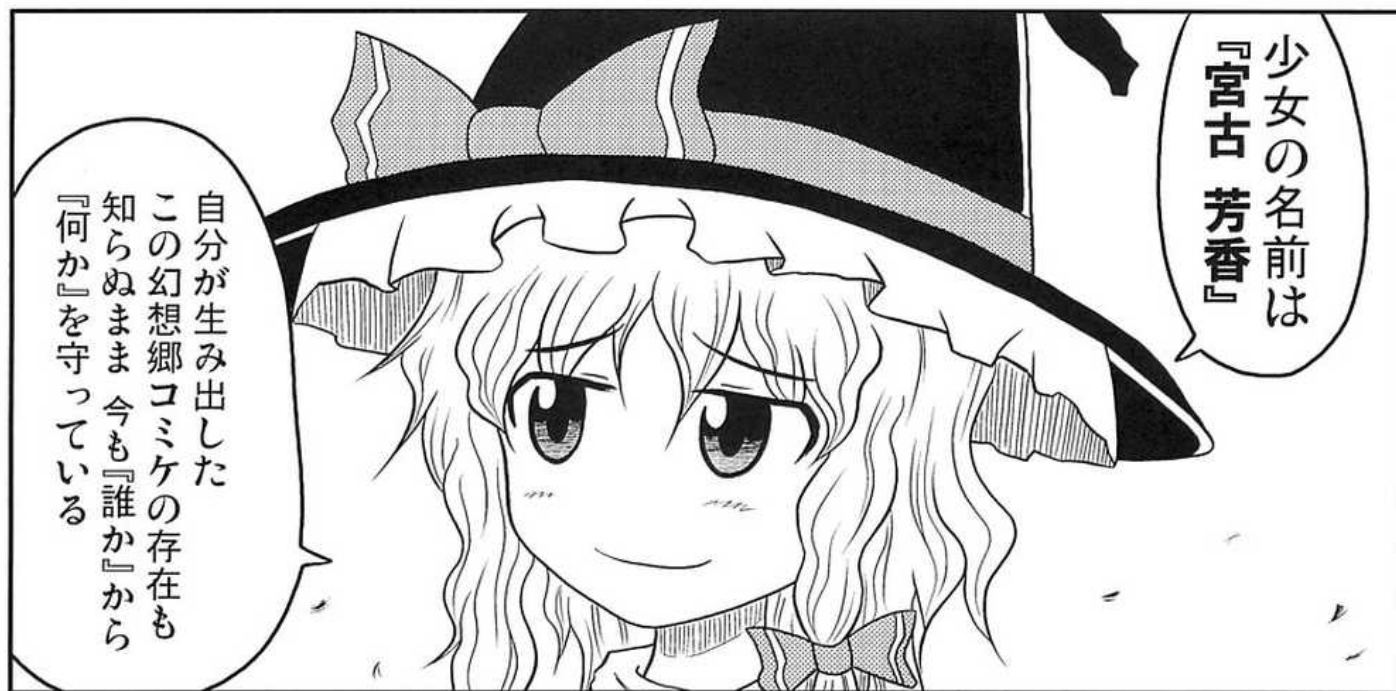
次に思ったことは  
『私が何かを守らなくては』  
という使命感

何を…誰から？  
それはもう忘れてしまったけれど

私が

守らなまきや！





少女の名前は『宮古 芳香』

自分が生み出したこの幻想郷コミケの存在も知らぬまま今も『誰か』から『何か』を守っている



……あいつ氷漬けにしちゃったよ？

し仕方ないよ

だって完全にギャグ要因だったじゃん

大丈夫だよ 奴らはその程度じゃくたばらない

それよりも…この祭りを楽しむことがあいつのためになるんじゃないか？



…と言われてもやおい…かあそんなえっちゃんの買って怒られないかなあ

突っ込みたいたいところは色々あるが別にやおいじゃなくてもOKだ私はレス専門だしな

それに今の私たちにぴったりの楽しみ方もここには存在する

ドキドキドキドキドキドキドキ



東A61  
『上海アリス幻楽団』に  
並ぶことだ

お前らも4面以降を  
攻略しに来たんだろ？  
…であればここに並んで  
神霊廟製品版を入手  
しなければならぬ

ア然。

あが…

2日目最大手の一つだが  
なあと2時間も楽しく  
炎天下に晒されてれば  
手に入るさ

これは『楽しい』  
んじゃないくて  
『苦しい』のでは  
ないですか？

今後のために  
よく覚えておけ  
世の中には  
その2つが  
同義となる場合が  
あるんだよ

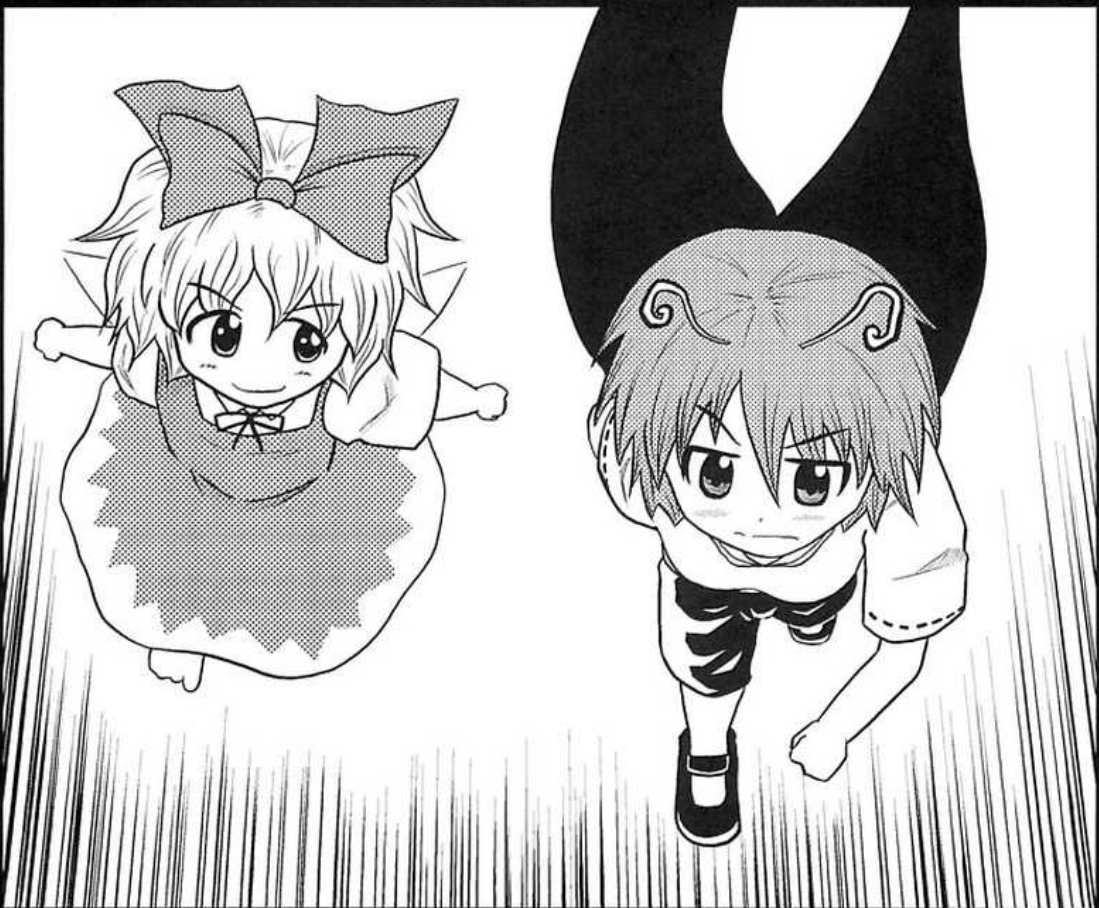
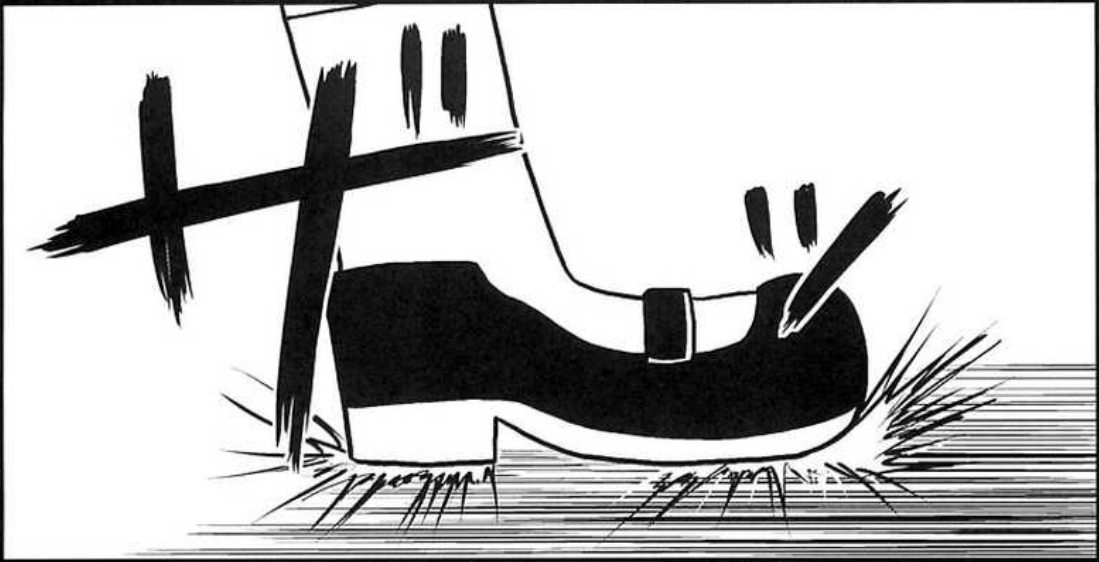
どうする  
チルノ…

なぐに言ってるのよ  
行くよりグるん!!

私が並んでいる  
のもそれだ

だよ。

欲望と争いばかりを繰り返す救いようのない世界だけれど



だとしてもここはかつてあの子が守ろうとした場所なんだ



決して忘れたりしない



それを憶えてる



END

## ■後書き

というわけで終了です。  
体験版なので最後まで描くことはできない、じゃあどう落とすか…と考えた結果、こうなりました。  
個人的には一つのお話として上手くまとまってくれたかな、と自画自賛してみます。  
そういや今回、(多分)初めて作中で真面目に人を殺しました。暗い話を描いた経験は皆無だったので、これはこれでなかなか楽しかったです。  
時間と画力の都合上、テキスト主体になってしまったのが漫画描く人としてどうかと思いますが。

んで神霊廟ですが、体験版を遊んだ限り、難易度が相当抑えられていてプレイしやすいという印象です。  
昔は余裕だったケツイ2周目突入がもはや手の届かないぐらいに衰えている自分のSTG脳にとっては、このぐらいの難易度が丁度良いかな…などと甘ったれたことをぬかしてしまおう。

本書の感想を切にお待ちしています。  
下記奥付のメールアドレス、或いはサイトのweb拍手からお気軽に。

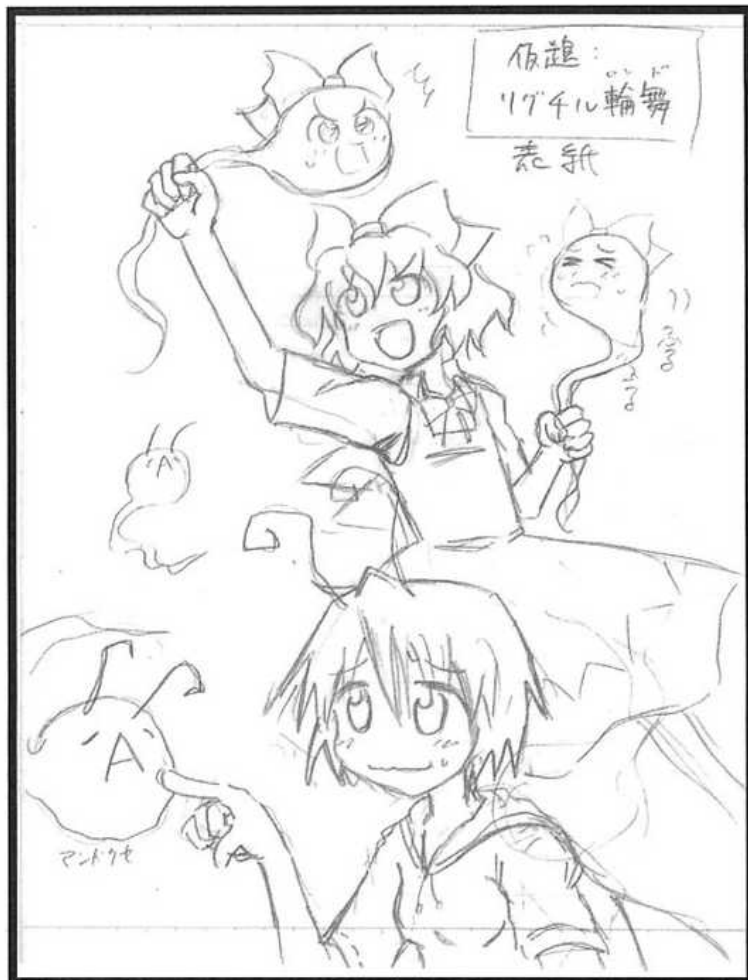
さて…入稿したら居酒屋入って、一人お疲れ会と称して好きなもんを好きなだけ食べようか。

2011年7月  
立入禁止の星空  
のーと

## ■奥付

誌名：リグチル<sup>ロンド</sup>輪舞  
～謎の白い霊体を追え!!～  
発行日：2011/08/13(C80)  
発行：立入禁止の星空  
(<http://thnote.jp>)  
執筆：のーと  
([badending01@mail.goo.ne.jp](mailto:badending01@mail.goo.ne.jp))  
印刷：ねこのしっぽ様

本書は、「上海アリス幻楽団」様の東方projectを原作とした二次創作です。



表紙の下描きです。  
右上のふるふるしてるチルノの神霊がやたら可愛く描いたのでお気に入りです。  
チルノの足を描くのが苦手なので、リグルの左肩に一匹神霊を追加して隠したり。  
こんなんだから画力が上がらんのだ。



今回のサークルカット。  
描いた時点では何の話描くなんて決めてませんが、とりあえずリグチルって書いておけば外れはない。特定キャラ偏愛ってのはこういうときに便利です。

# リグルの欲。



チルノが望んでいるから、それが重要だったんだ

でも今ならなんでもかんでも



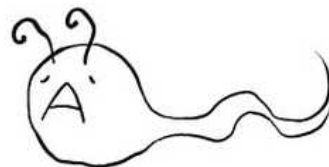
結局私の『欲』は何だったのか

私がここに来たことだって芳香のことを知る前は単にチルノが望んでいるからであり私自身の欲じゃない

つまりは  
そういうことだ



しかしチルノが来た途端チルノの神霊の後ろを付いて行くように行動が変化している



思えば私の神霊は当初どこにも行く様子はなかった



『チルノと一緒にいたい』だろ？

!?



多分私の『欲』は…

なんか恥ずいから心の内に、しまっておくけど…



バカヤロウ

今度こそおしまいっ!!



ばっ

神霊廟  
ゲット♪



魂ってのは正直なものだぜ

大好きなんだろう？チルノのこと

——左手には戦利品、右手には己の分身。  
全国各地で無数の種が飛び交う魔の後夜祭。  
その夜は、後に『ワルプルギスの夜』と  
呼ばれることになる。

